



うえの やまたかし
上野山 貴嗣

生年月日 1980年8月愛知県生まれ
最終学歴 2006年名古屋工業大学大学院工学研究科社会学専攻前期博士課程修了
業務経歴 2006年㈱安井建築設計事務所入社
現在、大阪事務所設計部主任

●担当した主なプロジェクト

- 2008年 斑鳩町総合保健福祉会館
- 2009年 南船場秋山ビル
- 2009年 甲南小学校新本館
- 2011年 東海関電ビルディング
- 2013年 山辺広域行政事務組合消防本部天理消防署

●受賞

- JCDデザインアワード2012 入選
- 第46回SDA賞 優秀賞・入選
- DSA賞2012 入選

■青年技術者のことば

—設計の先にあるもの—

多種多様な建築に携わることは、幸せなことだ。多様な建築主と対話し、様々な視点から建築と向き合うことができるからだ。多くの熱い想いに応えるうちに、私自身も熱くならざるを得ない。

ここに紹介したプロジェクトをはじめ、数々の設計行為の課程で強く感じることは、建築は建てて終わりではなく、そこから次のステップのスタートだということ。私自身の思想すなわち「こうりたい」に、建築主のビジネスパートナーとしての視点や、街に建つ公共的財産としての意義すなわち「こうあるべき」が重なることで、一本の線が意味を持つ。

建築主の想いを汲み取り「次のステップの狙い」を綿密に練り上げ、その「狙い」を実現すべく一本の線に想いを乗せていく作業、それこそが建築設計の醍醐味であると考えている。

「設計の先にあるもの」までをデザインすること。それこそが設計者の責任だという想いを持ちながら、今後も建築と向き合っていきたいと思う。

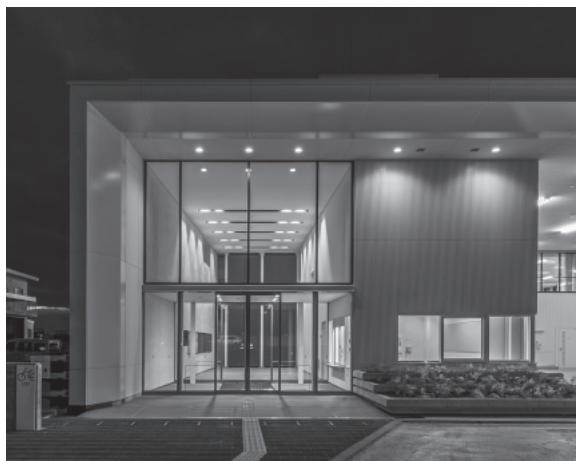
■すいせん者

寺岡宏治
㈱安井建築設計事務所 執行役員
大阪事務所 設計部長



東海関電ビルディング

エントランスから内部へ人を導くアルミキャストパネルのサインウォール、西日の影響を最小限に抑えるパーチカルルーバー、太陽光発電パネルを組み込んだダブルサッシュカーテンウォールなどを、ユニークで洗練された建物イメージを強調する意匠エレメントとしてデザイン。建物のアイデンティティーをビルに必要な機能そのものが形作ることで、他にはない表情を作り出した。



山辺広域行政事務組合消防本部天理消防署

地域の文化的景観である「大和青垣」を背景に広がる勾配屋根の架かった建築群。天理ならではの風景を建物に取り込みながら、消防・防災・環境への市民の意識を高める仕掛けを各所に設けた。市民にとって建築自体が美しい天理の街を護る契機になることを願っている。

